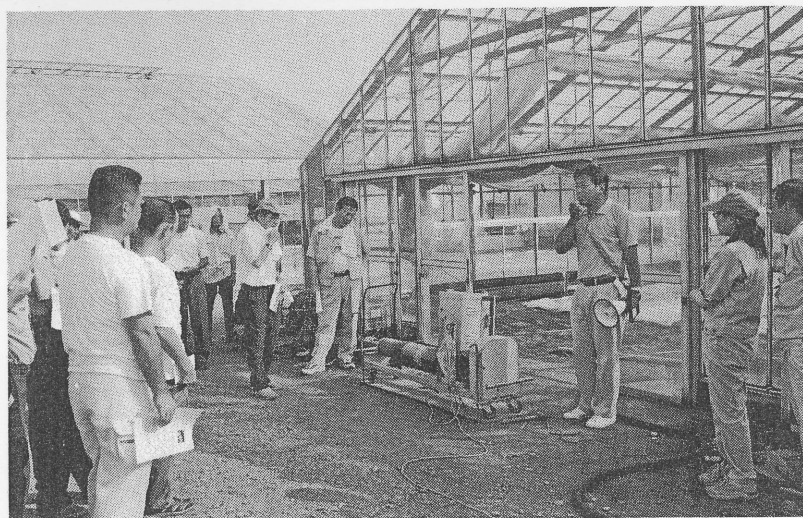




熱水土壌消毒 現場で実演

東京・西多摩普及センターなど

【東京・にしたま】西多摩農業改良普及センターと都植物防疫協会はこのほど、瑞穂町の近藤昭さんのガラス温室で、熱水土壌消毒技術の現地検討会を開いた。JAにしたま管内の野菜農家を中心に、西多摩地区の農家、東京都関係職員、メーカーの担当者ら50人が参加した。

熱水土壌消毒法は農薬使用を減らし、良質の土壌づくりができる技術。温室を提供した近藤さんは「高品質のトマト、食味の良いキュウリの生産には、良い土が要る。土壌消毒機の導入を検討したい」と話している。

熱水土壌消毒の説明を受ける生産農家

埼玉県が「台湾で」

【埼玉】県が主催し、JFAはくさい騎西町梨撰果